

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（概評）

【音 楽】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点１） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
17 教育出版	(1) 各学校の特色や児童の実態に応じて音楽を楽しんだり親しんだりできるように、主要部分の教材と選択可能なオプション部分を組み合わせることができるように配慮されるなどの工夫が見られる。また、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育むことができるように題材が構成されている。さらに、題材によっては、表現教材と鑑賞教材を関連させて学習するものや、学びの中で身に付けた内容を次の題材で生かすことができるように設定されており、学習がより深まるように工夫されている。
27 教育芸術社	(1) 各学校の特色や児童の実態に応じて音楽を楽しんだり親しんだりできるように、題材ごとに、1つの題材の中から教材や学習活動を選択することができるように配慮されるなどの工夫が見られる。また、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育むことができるように、音楽を形づくっている要素を中心に題材が構成されている。さらに、各題材の中に表現活動と鑑賞活動のそれぞれの領域の教材が設定されており、多様で効果的な学習が展開できるように工夫されている。

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
17 教育出版	<p>(1) 児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年の巻頭に「学習マップ」が新設され、学習の進め方について分かりやすく示されている。また、児童が気付いた「音楽を形づくっている要素」等を書き込む「メモ欄」を中学年から設けるなど、主体的に学習を進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、見開きごとに「音楽のもと」として明記された「音楽を形づくっている要素」を、表現（歌唱、器楽、音楽づくり）や鑑賞の学習活動において焦点化し、相互に関わらせるような工夫が見られる。また、「音楽を形づくっている要素」をもとに、児童の思いや意図に合った表現のための技能を身に付けられるように、発問例や活動例が掲載されるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「思考力・判断力・表現力等」の育成を意識した発問例が「まなびナビ」に示されたり、グループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されたりしている。また、児童がワークシート等の資料を二次元コードで読み取る「まなびリンク」が示されるなど、児童が思いや意図を生かして表現したり、音楽の魅力を感じ取ったりできるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、見開きごとに学習のねらいが示されるとともに、学び方が「まなびナビ」で示され、児童が題材ごとの学習の見通しをもって主体的に学ぶことができるように工夫されている。また、歌唱曲の歌詞の内容に忠実な写真を掲載するなど、人々の生活と音楽を結びつけるような資料や教材の工夫が見られる。</p>

27 教育芸術社	<p>(1) 児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年の巻頭に「学習マップ」が掲載され、学習の進め方について分かりやすく示されている。また、学習活動が「考える（思考力、判断力、表現力等）」「見つける（知識）」「歌う、演奏する、つくる（技能）」に分けて具体的に掲載されるなど、主体的に学習を進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、各教材ページ端に示された「音楽を形づくっている要素」を表現（歌唱、器楽、音楽づくり）や鑑賞の学習活動において焦点化し、相互に関わらせるような工夫が見られる。また、「音楽を形づくっている要素」をもとに児童の思いや意図に合った表現のための技能を身に付けられるように、「知識」「技能」に関する学習活動例や吹き出しが掲載されるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習活動を展開するための具体的な手立てが「考える」で示され、児童の作品例やグループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されている。また、児童がワークシートを二次元コードで読み取る「ムーブの部屋」が示されるなど、児童はつくったものを作品としてすぐに再現し、繰り返し思考することができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、学習のまとめごとに、題材のねらいと、学習をふりかえるまとめを示し、学んだことをこれからの学習につなげることができるように工夫されている。また、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促すコラムや写真を掲載するなど、人々の生活と音楽を結び付けるような資料や教材の工夫が見られる。</p>
----------	--

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
17 教育出版	<p>(1) 児童の学習への興味・関心を高めるために、表紙には、該当学年で学ぶ楽曲に関するイラストや演奏されている楽器等が描かれ、学びの楽しさを伝えられるように工夫されている。また、学習内容を視覚的に示すために、折り込みを使ったワイドな写真の掲載やイラストの挿入、パート・小節ごとの色分けなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 楽譜については、絵や図での楽譜から五線譜に移行したり、旋律の動きを捉えるためのアニメーション動画が視聴できるようになっていたり、発達の段階に応じて分かりやすく学べるように工夫されている。また、初めて階名や音符等を学ぶ第3学年では、「楽ふのお話」として1ページに音符と休符、五線、小節についてまとめてあり、それ以降の学習でもこのページで振り返ることができるように工夫されている。さらに、音程を分かりやすく学ぶために、第1学年では音の高さに合わせて体を動かす活動が設定されており、児童が感覚的に音の高さを理解できるように工夫されている。</p> <p>(3) 個別最適な学びを可能にするために、楽器の奏法や演奏の仕方の動画、鑑賞曲の楽器別の音源を二次元コードの読み取りで視聴できるように工夫されている。また、巻末には該当学年までに学習する用語や奏法、楽譜に関する内容等がまとめてあり、学びの振り返りや定着が図れるように工夫されている。</p>

27 教育芸術社	<p>(1) 児童の学習への興味・関心を高めるために、表紙に描かれるキャラクターの人数が、学年が上がるごとに増えており、協働した学びの姿と楽しさを伝えられるように工夫されている。また、児童の気付きや思考を促したり、活動を発展させる示唆を与えたりするために、気付きのヒントとなるキャラクターの言葉が随所に示されるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 楽譜については、絵や図での楽譜から五線譜に移行したり、旋律の動きを捉えるためのアニメーション動画が視聴できるようになっていたりと、発達の段階に応じて分かりやすく学べるように工夫されている。また、初めて階名や音符等を学ぶ第3学年では、楽曲を学びながら音符や休符、五線等について学べるよう「がくふマスター」というコーナーが適宜掲載され、歌唱や器楽の学びを通して定着が図れるよう工夫されている。さらに、音程を分かりやすく学ぶために、第1学年から第4学年まで適宜「ドレミ風船」のイラストが掲載され、視覚的に繰り返し音程感覚が学べるように工夫されている。</p> <p>(3) 個別最適な学びを可能にするために、楽器の奏法動画やタブレットを用いた音楽づくりのコンテンツが二次元コードによって視聴、活用できるように工夫されている。また、巻末にある「ふり返りのページ」に1年間の学習がまとめてあり、学びの振り返りや定着が図れるように工夫されている。</p>
----------	---

4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点4) 児童が思いや意図に合った表現をしたり、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考えたりするために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
17 教育出版	<p>(1) 思いや意図に合った表現力を身に付けさせるために、視覚的に理解しやすい図・イラストによる「まなびナビ」を設定して、音楽的な根拠を基に表現の仕方を考えさせるような工夫が見られる。学びの視点となる手立てが示されており、児童教師双方にとって分かりやすくなるような工夫がされている。また、題材に配置されている教材とオプション部分の教材の組み合わせが可能で、題材の構成に児童の実態に応じて対応できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考える力を身に付けさせるために、旋律の流れに合わせて体を動かす活動を取り入れることにより、主体的な鑑賞学習になるような工夫が見られる。また、音楽を形づくっている要素の表れ方と音楽の感じを表す言葉の例を「音楽を表すいろいろな言葉」として資料に示して、音楽的な根拠を基に考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 人々の生活や社会の中の音楽と豊かに関わろうとする態度を育てるために、鑑賞教材で、郷土の民謡「ひえつき節」が取り入れられている。調べ学習を通して、児童の興味・関心を高めるような工夫が見られる。</p>
27 教育芸術社	<p>(1) 思いや意図に合った表現力を身に付けさせるために、キャラクターの吹き出しにより見通しをもたせ、「おもいだそう」で既習事項を振り返り表現の仕方を考えさせるような工夫が見られる。学びの視点となる手立てとまとめが全ての題材に示されており、児童教師双方にとって分かりやすくなるような工夫がされている。また、ほとんどの題材に表現教材と鑑賞教材が設定されており、題材の構成に児童の実態に応じて選択できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考える力を身に付けさせるために、キャラクターの吹き出しによって、学習や工夫の視点のほか、児童の気づきや思考を促すなどの工夫が見られる。また、「気付いたこと」と「感じたこと」の欄を分けることで、それらの関わりを視覚的に捉えやすいワークシートが配置され、音楽的な根拠を基に考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 人々の生活や社会の中の音楽と豊かに関わろうとする態度を育てるために、裏表紙に「泰平踊」が紹介され、鑑賞教材で郷土の民謡「かりぼし切り歌」が取り入れられている。拍や節回しを視覚的に比較させることで特徴を捉えやすくなるような工夫が見られる。</p>